

# 一般国道361号

ごんべえ

## 権兵衛峠道路

(道路事業)

### 説明資料

平成23年2月14日

中部地方整備局

# 目 次

## 1. 権兵衛峠道路の事業概要

(1)事業目的	.....	P1
(2)計画概要	.....	P2

## 2. 評価の視点

①事業効果の発現状況		
1)通行不能区間の解消	.....	P4
2)地域の活性化	.....	P5
3)交通利便性の向上	.....	P6
②社会経済情勢の変化	.....	P8

3. 対応方針(案)	.....	P9
------------	-------	----

# 1. 権兵衛峠道路の事業概要

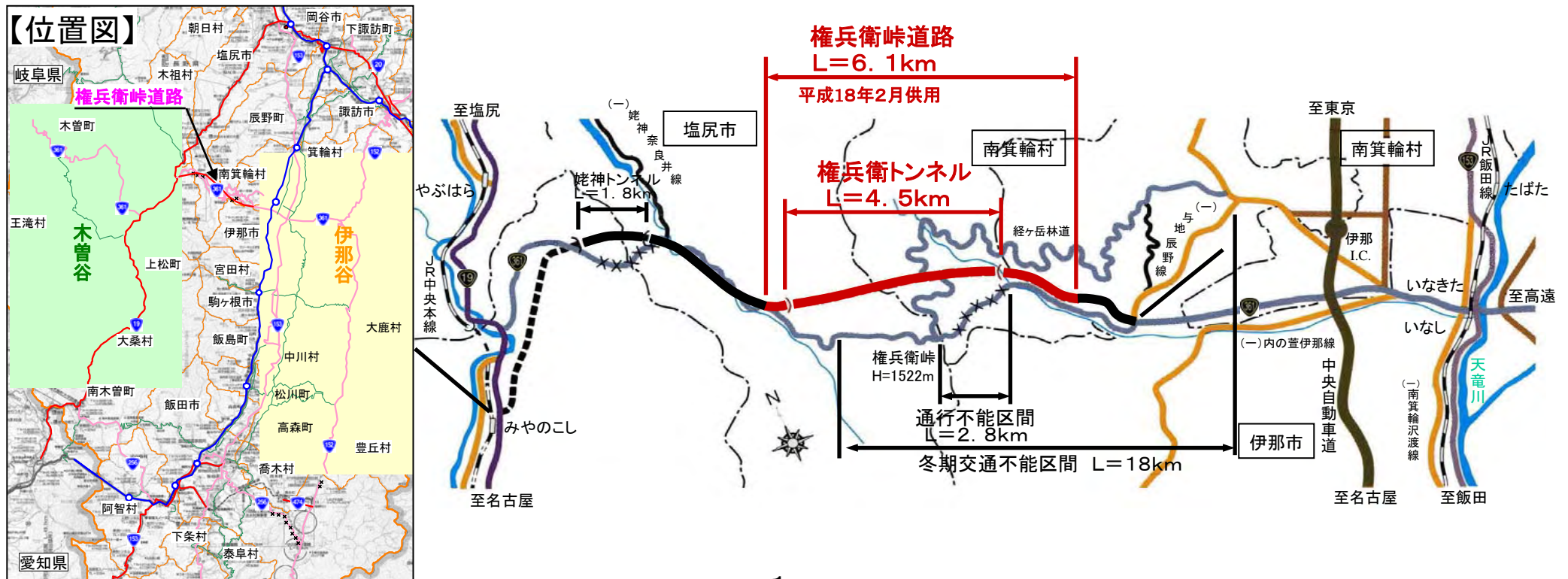
## (1) 事業目的

一般国道361号は、岐阜県高山市を起点とし、長野県伊那市高遠町を結ぶ、延長約152kmの広域的な幹線道路です。

権兵衛峠道路は、国道361号の伊那木曾連絡道路の一環として、長野県塩尻市大字奈良井から長野県伊那市(与地)に至る延長6.1kmの道路であり、長野県からの権限代行を受け平成18年2月に完成した事業です。事業の主な目的は以下の3点です。

- ① 通行不能区間の解消
- ② 地域の活性化
- ③ 交通利便性の向上

## 権兵衛峠道路の全体位置図

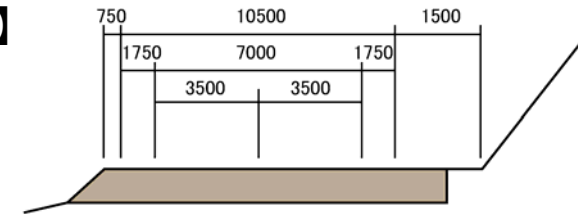


## (2) 計画概要

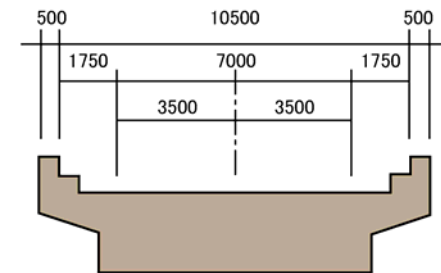
- 事業名 : 一般国道361号 権兵衛峠道路
- 起終点 : (起点) 長野県塩尻市大字奈良井しおじりし ならい  
(終点) 長野県伊那市(与地)ながのけんいなし よち
- 延長 : 6.1 km
- 道路規格 : 第3種第1級
- 設計速度 : 80 km/h
- 車線数 : 完成2車線
- 事業化 : 平成5年度
- 用地着手年度 : 平成6年度
- 工事着手年度 : 平成7年度
- 前回の再評価 : 平成14年度  
(指摘事項なし: 継続)
- 全体事業費 : 464億円

## 標準断面図

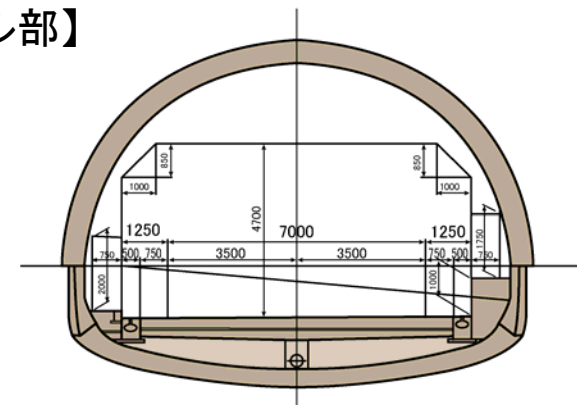
### 【土工部】



### 【橋梁部】



### 【トンネル部】



## 2. 評価の視点

### ①費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

#### ■費用便益比(B/C)

$$\diamond \text{費用便益比(B/C)} = \frac{\text{走行時間短縮便益} + \text{走行経費減少便益} + \text{交通事故減少便益}}{\text{事業費} + \text{維持管理費}} = \frac{682\text{億円} + 64\text{億円} + 11\text{億円}}{581\text{億円} + 36\text{億円}} = 1.2$$

※事業費及び維持管理費は現在価値に換算

#### ■費用・事業期間

事項	前回再評価時(H14)	事業完了時	変化	備考
全体事業費	約450億円	464億円	約14億円の コスト増	掘削補助工法の増加、 崩落復旧による工費の増加
事業期間	—	平成5年度～平成17年度 (事業期間12年)	—	—

#### ■利用状況

事項	供用前※1	供用後 (平成21年度)※2	変化	備考
交通量	235台/日	約3,600台/日	約3,400台/日増加	約15倍増

※1: H17道路交通センサス

※2: 長野県木曾建設事務所HP

○前回評価時の費用便益(B/C)との比較

■前回B/C(平成14年度再評価時) 1.6

■変化の要因

1. 事業費の増(トンネル掘削補助工法の増加)等 2. 費用便益分析マニュアルの改訂 3. 交通量推計に用いるデータの変更

## 2. 評価の視点

### ①事業効果の発現状況

#### 1) 通行不能区間の解消

- 一般国道361号の通行不能区間や冬期閉鎖区間が解消しました。
- 伊那一木曾地域間の迂回が解消され、大幅に時間が短縮し、交通量が増加しました。
- 利用者アンケートでは、約9割が権兵衛峠道路に満足しており、各地域を身近に感じるようになりました。

#### 一般国道361号の通行不能区間や冬期閉鎖区間が解消

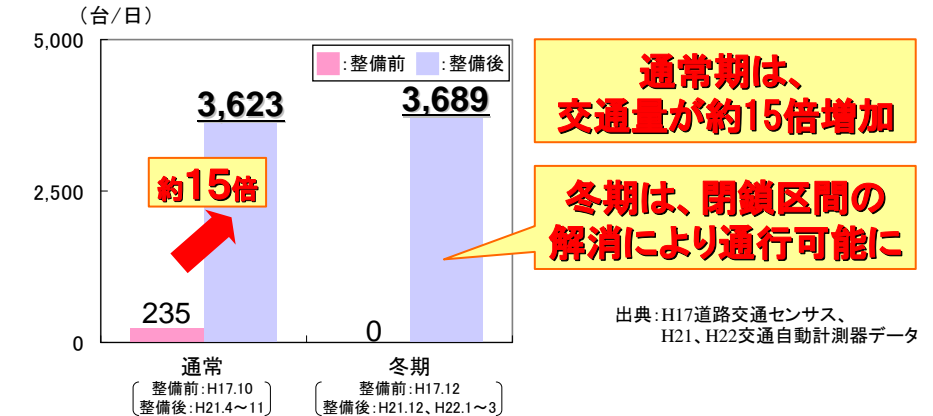
〈一般国道361号の通行不能区間・冬期閉鎖区間の状況〉



出典：H17道路交通センサス

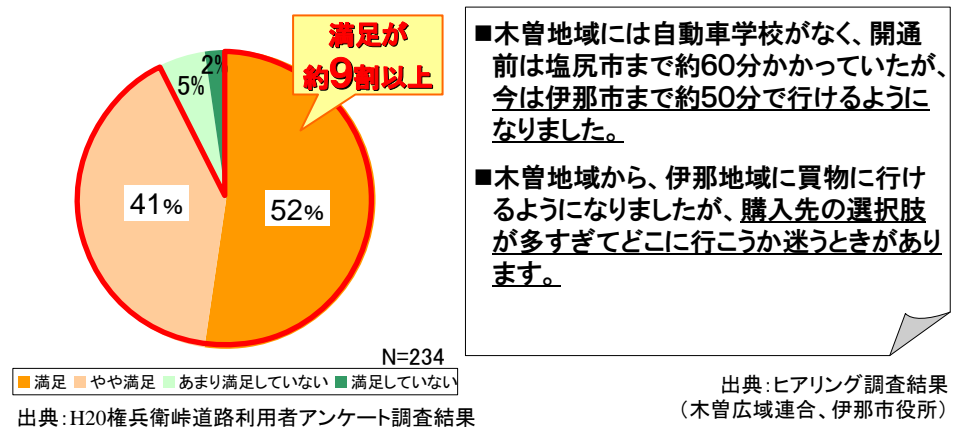
#### 伊那・木曾地域の交通の変化

〈伊那・木曾地域間の交通量〉



#### 利用者の満足度が高く、各地域が身近な存在に変化

〈権兵衛峠道路の満足度〉





## 2. 評価の視点

### ①事業効果の発現状況 2) 地域の活性化

- 大手コンビニの出店、大規模商業施設や観光施設の利用等、伊那・木曽地域の生活圏が拡大しました。
- 伊那地域で、木曽地域を募集範囲に含めた求人が出るようになり、木曽地域の雇用機会が約3倍に増加しました。
- 伊那・木曽地域が合同でイベント、スポーツ大会を開催し、頻繁に交流が図られるようになりました。

### 大手コンビニの出店や大規模商業施設の利用増加 木曽地域から伊那地域への雇用機会の増加

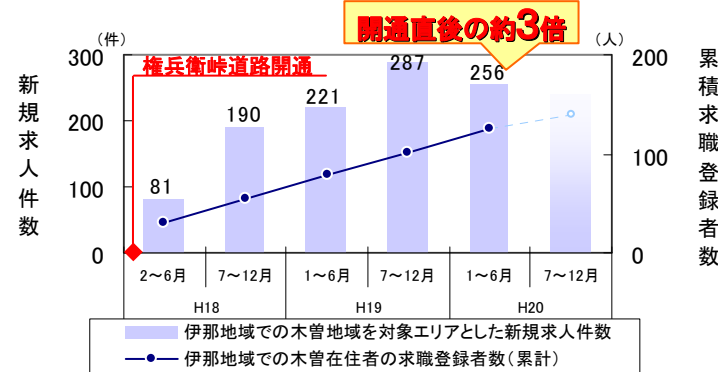
〈大手コンビニエンスストアの出店や大規模商業施設の利用増加〉

〈伊那地域での木曽地域を対象エリアとした求人の推移〉



- 権兵衛峠道路の開通後に、新たな配送ルートが確保され、大手のコンビニチェーンが続々と出店しました。
- 権兵衛峠道路の開通により、木曽から伊那地域への買物機会が増加しました。

出典: ヒアリング調査結果(伊那市役所、木曽広域連合)



※H20. 7以降は景気低迷の影響もあり新規求人件数は減少傾向

- 近年は、厳しい社会情勢が続いており、新規求人件数が減少傾向にあります。
- 木曽地域から伊那市への求職者は、毎月5名程度おり、毎年就職しています。

出典: ヒアリング調査結果  
(ハローワーク伊那)

### 地域間交流の活性化

伊那地域における  
木曽地域観光施設等の宣伝看板

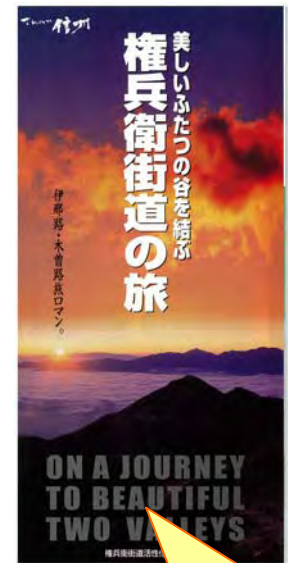


木祖村のスキー場

木曽地域における  
伊那名物等の宣伝看板



伊那市の名物店



交流イベントの開催

## 2. 評価の視点

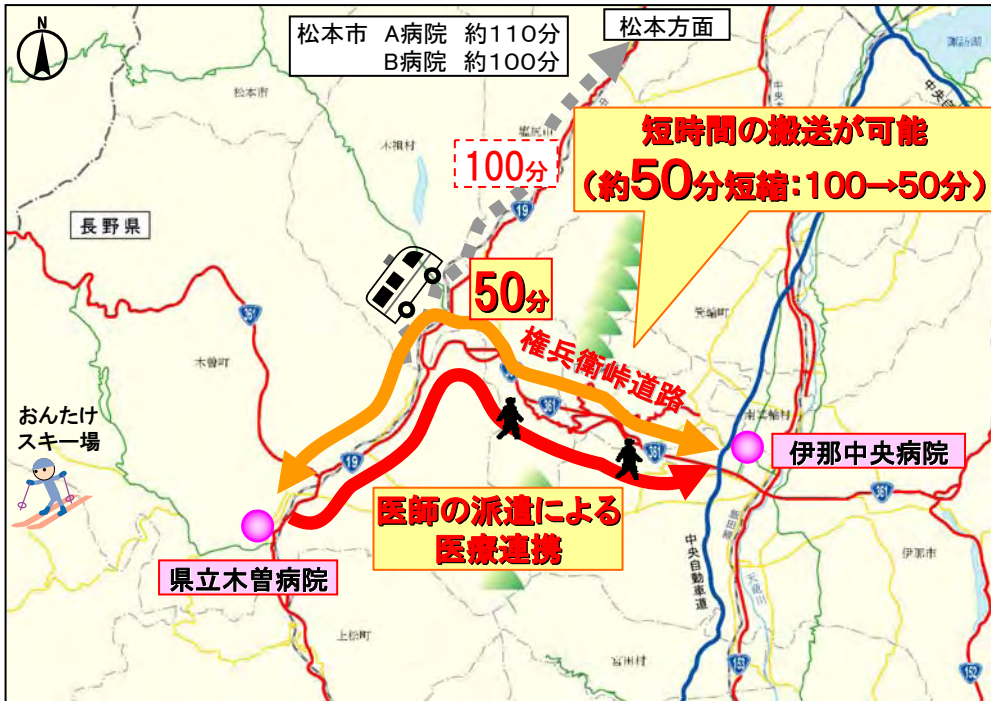
### ①事業効果の発現状況

#### 3) 交通利便性の向上

- 木曾・伊那間の所要時間が大幅に短縮したことで、患者の搬送先が変わり、短時間の搬送が可能になりました。
- 医療施設間で診療科目の相互補完が可能になり、医師の派遣など医療連携の取り組みも開始されました。
- 伊那と木曾地域で、事故・災害時の協力体制が構築されました。

#### 診療科目の相互補完

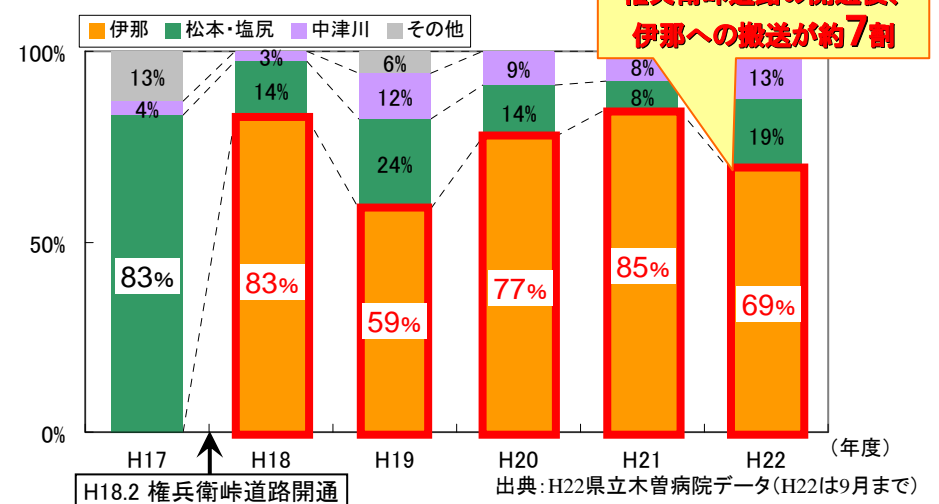
〈伊那中央病院と県立木曾病院の診療科目の相互の補完〉



- 県立木曾病院には脳神経外科がないため、患者はほとんど伊那中央病院へ搬送しています。
- 伊那中央病院では、産科医が不足しているため、木曾病院から産科医の派遣をお願いしています。

#### 県立木曾病院からの脳外科関連重症患者の搬送先

〈県立木曾病院からの脳外科関連重症患者の搬送先〉



#### 伊那と木曾地域で事故・災害時の協力体制構築

〈伊那・木曾合同防災訓練(権兵衛トンネル内)〉



伊那・木曾合同で消防訓練を実施

〜おんたけスキー場で事故発生〜

- 2007年12月15日に、木曾郡のおんたけスキー場でゴンドラリフトの脱索事故が発生しました。
- 伊那広域消防も早期の協力体制により、救助活動を実施しました。
- 合同訓練の成果もあり、乗客90名を安全・無事に救助することができました。

出典: ヒアリング調査結果(伊南行政組合消防本部)

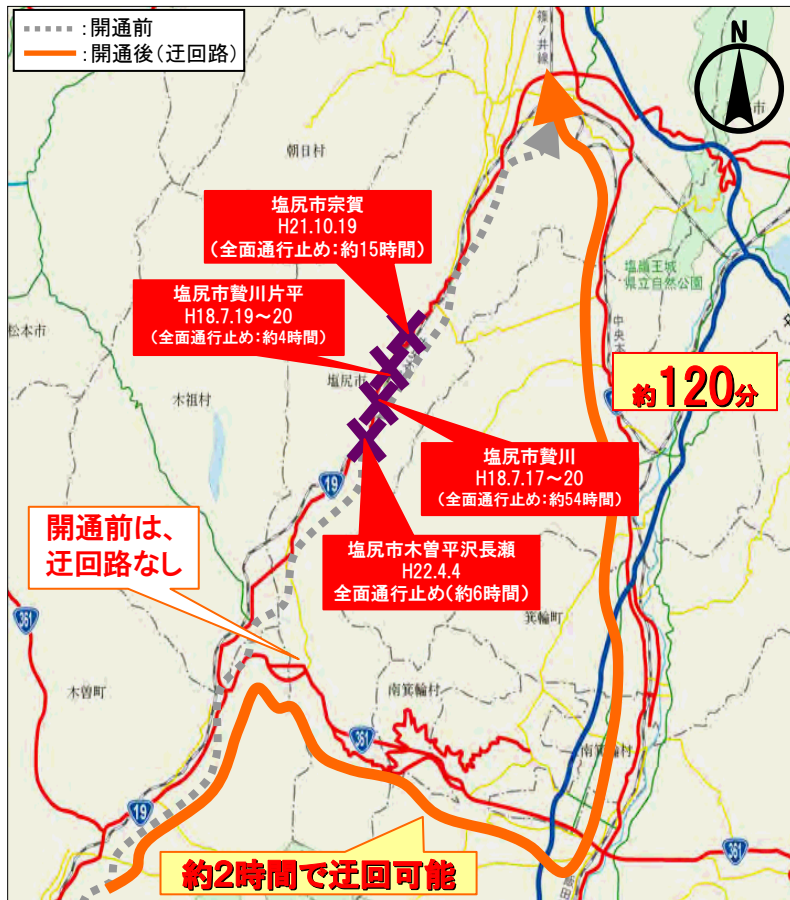


## 2. 評価の視点

### ①事業効果の発現状況 3) 交通利便性の向上

- 国道19号において、災害や交通事故が発生し通行止めとなった場合の代替路が確保されました。
- 長時間にわたる通行止めに対して、約2時間で迂回が可能になりました。

### 国道19号の代替路の確保



※所要時間はH17道路交通センサより算出。権兵衛峠道路は速度を60km/hと設定。  
※旗揚げ箇所は一例

国道19号(長野県南部区間)では、災害・事故による通行止めが、**平均約20件/年**発生しています。

〈事故発生状況〉

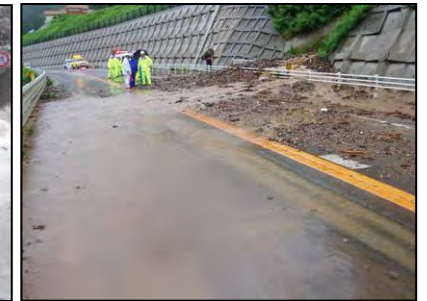


全面通行止め(冬期)  
約15時間



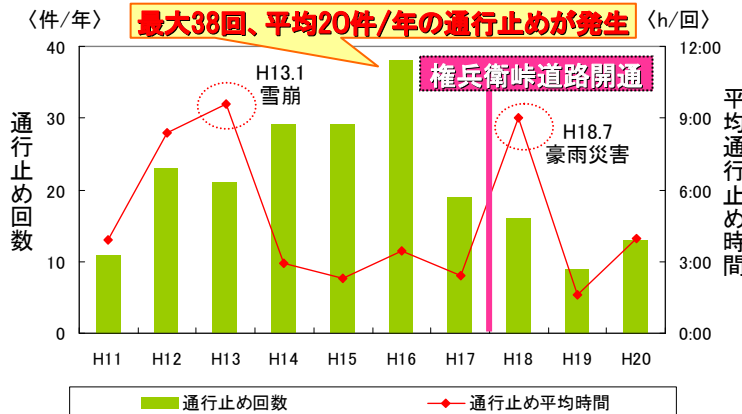
全面通行止め(冬期)  
約6時間

〈災害発生状況〉



全面通行止め  
約54時間

〈国道19号(長野県南部区間)における災害・事故等による通行止めの発生状況〉



以前は、通行止めの際、開通するまで待っていましたが、権兵衛峠道路が開通したことで、迂回できるようになり、助かっています。



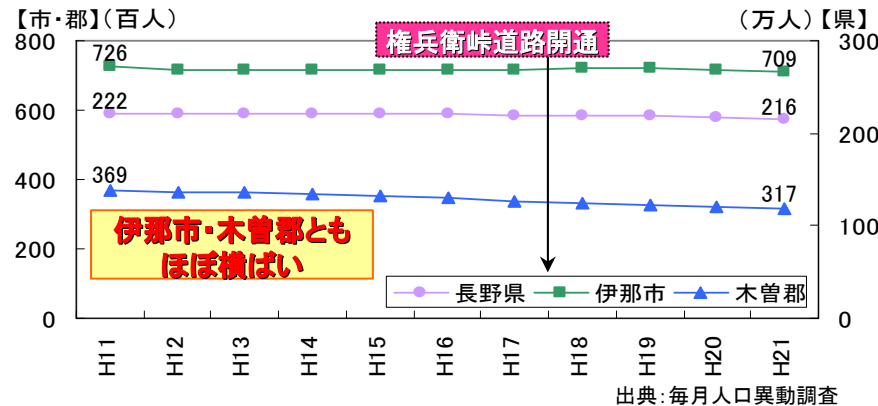
出典: ヒアリング調査結果(塩尻市役所)

## 2. 評価の視点

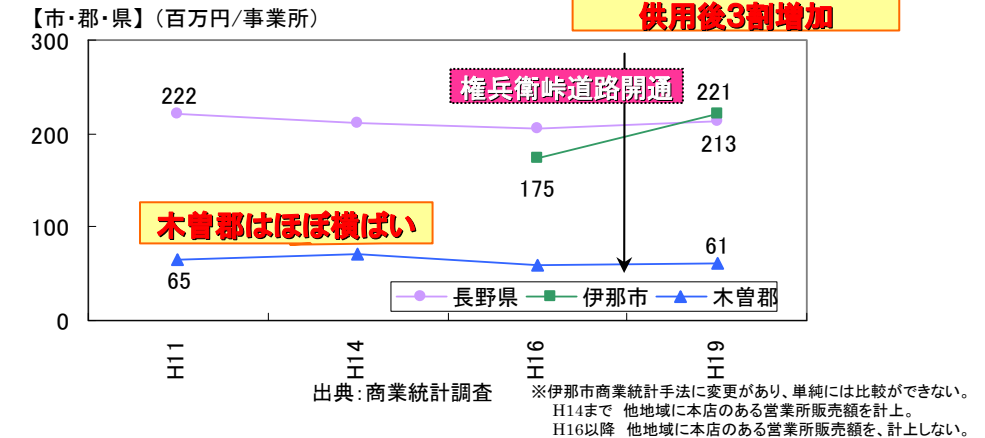
### ②社会経済情勢の変化

- 人口は、木曽郡・伊那市ともにほぼ横ばいです。
- 高齢化率は上昇傾向にあり、特に木曽郡では長野県平均より、上昇率が高くなっています。
- 年間商品販売額は、木曽郡はほぼ横ばいです。伊那市は、権兵衛峠道路供用後大幅に増加しました。
- 観光入込み客数は、木曽郡は減少傾向でしたが権兵衛峠道路供用後若干増加しました、伊那市はわずかに増加傾向にあります。

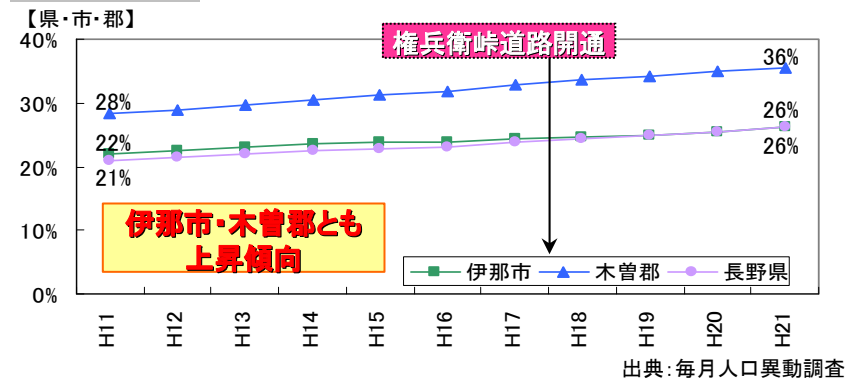
#### <人口動向>



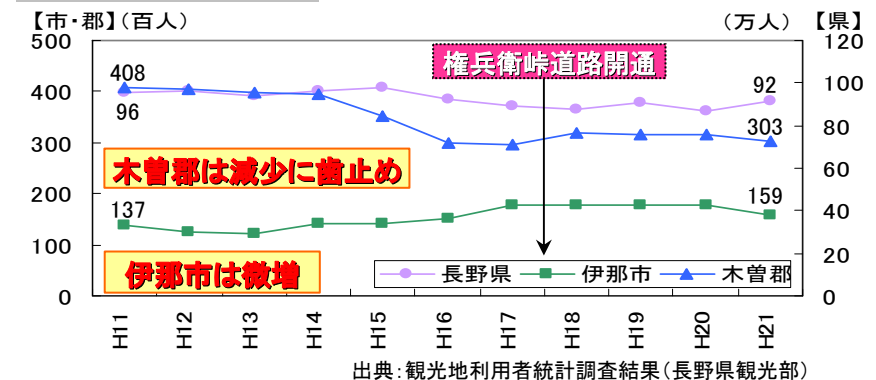
#### <商品販売額>



#### <高齢化率>



#### <観光入込み客数>



### 3. 対応方針(案)

平成17年度の完成から一定期間(5年間)が経過したことから、以下の視点で事後評価を行いました。

#### ○今後の事業評価の必要性

権兵衛峠道路は事業が完了しており、当初の整備目的どおりの効果が発現していることから、今後の事後評価の必要はないと考えます。

#### ○改善措置の必要性

権兵衛峠道路は当初の整備目的を達成していると判断できるため、改善措置の必要はないと考えます。

#### ○同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

本事業は当初の整備目的どおりの効果を確認していることから、同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要はないと考えます。